

原子燃料工業（株）熊取事業所 第3回安全文化評議会の開催報告（3月11日）

当社熊取事業所では安全文化醸成方針に基づき、安全文化醸成活動計画を定めて各種の安全文化醸成活動を実施しています。

この度、多面的に当事業所の安全性についてご意見を頂戴するべく、社外有識者および地元代表のご参加を得て、「第3回安全文化評議会」を開催しました。

当事業所の安全性向上のためのご意見をいただくとともに、地域の皆さまに当事業所をご理解いただく場として、役立ててまいります。

1. 日時

2013年3月11日（月）10：40～15：30

2. 出席者

[社外委員]

- | | |
|----------------------------|---------|
| ・大阪大学コミュニケーションデザイン・センター准教授 | 八木 絵香 様 |
| ・労働・安全コンサルタント | 金原 清之 様 |
| ・熊取町朝代区長 | 根来 昇 様 |
| ・熊取町住民部統括理事 | 田中 豊一 様 |

[主催者側委員]

- | | |
|----------------|-------|
| ・熊取事業所長 | 村田 保 |
| ・熊取事業所副所長 | 吉国 正明 |
| ・熊取事業所副所長 | 大井川久夫 |
| ・熊取事業所核燃料取扱主任者 | 林 正之 |
| ・熊取事業所環境安全部長 | 古賀 勝美 |
| ・品質・安全管理室長（本社） | 西野 祐治 |

3. 実施内容

- (1) 熊取事業所概要説明
- (2) 安全文化醸成活動のご報告
 - ・安全文化の定義
 - ・安全文化醸成方針
 - ・安全文化醸成方針の位置づけ
 - ・安全文化（安全・安心）を具体的に実現するための個人と組織の行動3段階（「感受性」・「共有」・「改善」）
 - ・熊取事業所における安全文化醸成活動
 - ・安全文化醸成活動の改善
 - ・安全文化醸成活動の課題
- (3) 社外委員による工場視察
視察範囲： 熊取事業所加工工場（原子燃料の加工を実施している施設）
- (4) 社外委員との意見交換

4. 外部委員からのご講評

(1) 「安全」というのは、技術的な説明をすることだけではない。「安全とは何か」という命題に対して、一方的に説明するのではなく、説明をする人と聞く人が相互にやりとりをしながら答えを出していくことが重要である。

つまり、『安全文化』というものは、社内だけで作るのではなく、地域の方とのコミュニケーションをとおして、一緒になって作るものである。

今後も、社外の視点を取り入れながら安全文化醸成活動に取り組まれたら良いと思う。

(2) 今回は、社内で発生したトラブルに対する改善の取り組みについて説明いただいたが、今後もこのような取り組みを、継続して実施し、常態化するように希望する。対策を検討するにあたっては、今回のように上位レベル（管理面）の課題を抽出するだけでなく、作業員レベルに潜んでいる不安全な行動や不安全な状態も抽出し、適切な対策を取るようにはしていただきたい。

また、作業員レベル向けの対策については、複雑化しないで展開することが重要である。このように、上位レベルと作業員レベルの双方の観点から改善対策に取り組むことにより、大きな事故も小さな事故もなくなると思うので、よろしく願います。

(3) 今回、初めて安全文化評議会に参加させていただいた。本日の説明を受け、熊取事業所の安全文化醸成活動については、十分に検討され実行されていると感じた次第である。

また、トラブルの対応においても、社長の指揮のもと、特別対策チームが徹底的に対策を検討され、迅速に実行されていることについても評価する。

しかし、地域住民に対しての情報公開、説明責任が迅速かつ適正に行われているかということに関しては疑問が残る。これは、大変難しい問題であり、今後の課題であると思うが、情報公開、説明責任を迅速に果たすことが、最終的には、地域住民に対しての安全・安心につながると思うのでよろしく願います。

(4) 熊取事業所が操業以来、外部に対して大きなトラブルなく現在に至っていることは評価する。

さて、原子力に対する世間の見方は、3.11以降、非常にシビアになってきている。そのためにも、情報公開は大切であると同時に、関心を持ってもらえない方へのアプローチも検討する必要があると思う。

地域住民からの信頼を得るべく、小さなことにも気を配り、できる方策から地道に実施していくことが大事であると思う。

最後に、熊取事業所を取り巻く環境については、非常に厳しいと思われるが、従業員のモチベーションを保つよう、よろしく願います。

5. 熊取事業所の今後の対応

社外委員の方々からいただいたご意見を参考に、安全文化醸成活動を継続的にレビューするとともに、地元の皆さまにご安心いただけるよう、努めてまいります。

以上